アクセスコントロール ルールのための設定 FQDN によって基づくオブジェクト

目次

概要

この資料はファイアウォール管理 センター（FMC）によって完全修飾ドメイン名（FQDN）オブジェクトの設定をおよびアクセス規則作成で FQDN オブジェクトを使用する方法を説明したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Firepower テクノロジーのナレッジ。
- 設定のナレッジ Firesight 管理センター（FMC）のアクセスコントロール ポリシーの

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

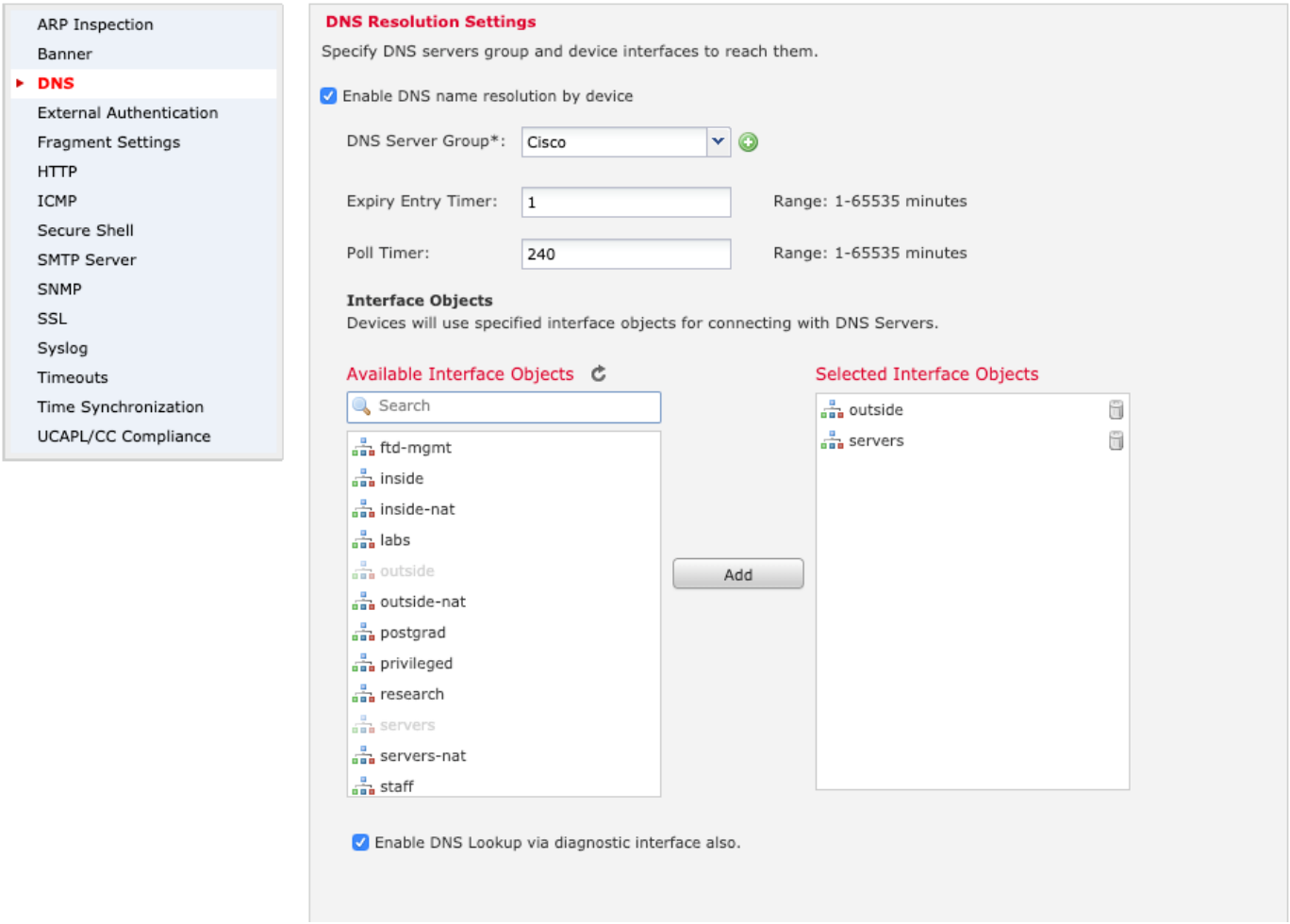
- バージョン 6.3 および それ 以上を実行する Firepower Management Center。
- バージョン 6.3 および それ 以上を実行する Firepower Threat Defense。

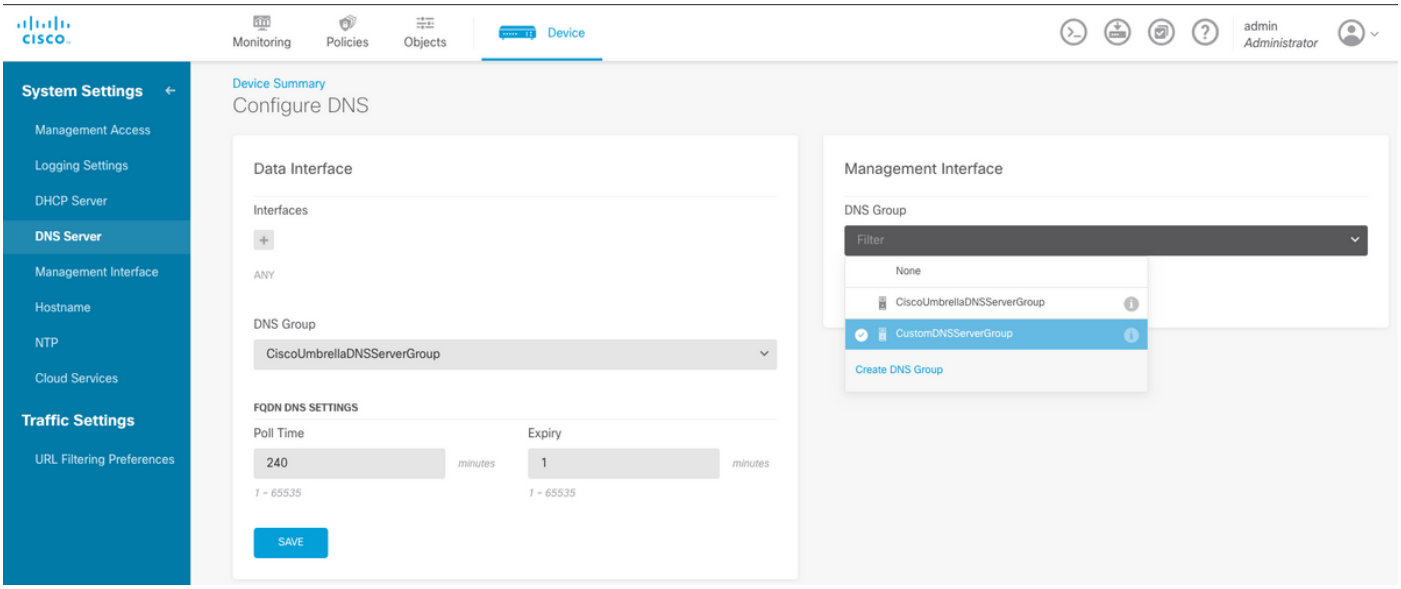
本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。 対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

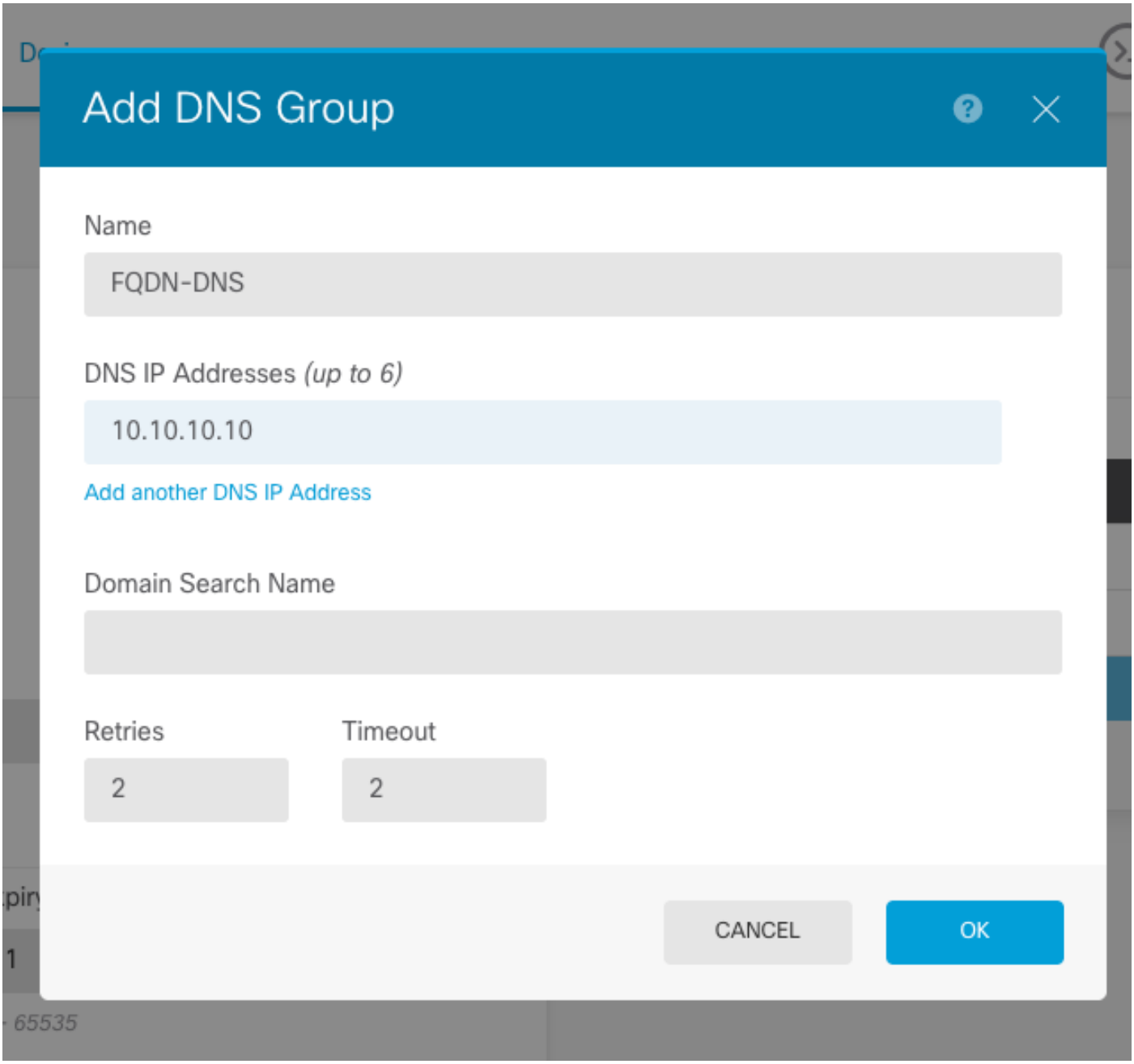
設定

ステップ 1. FQDN によって基づくオブジェクトを、第 1 は使用するために設定し、Firepower Threat Defense の DNS を設定します。

FMC にログインし、**デバイス > プラットフォーム設定 > DNS** にナビゲート して下さい。

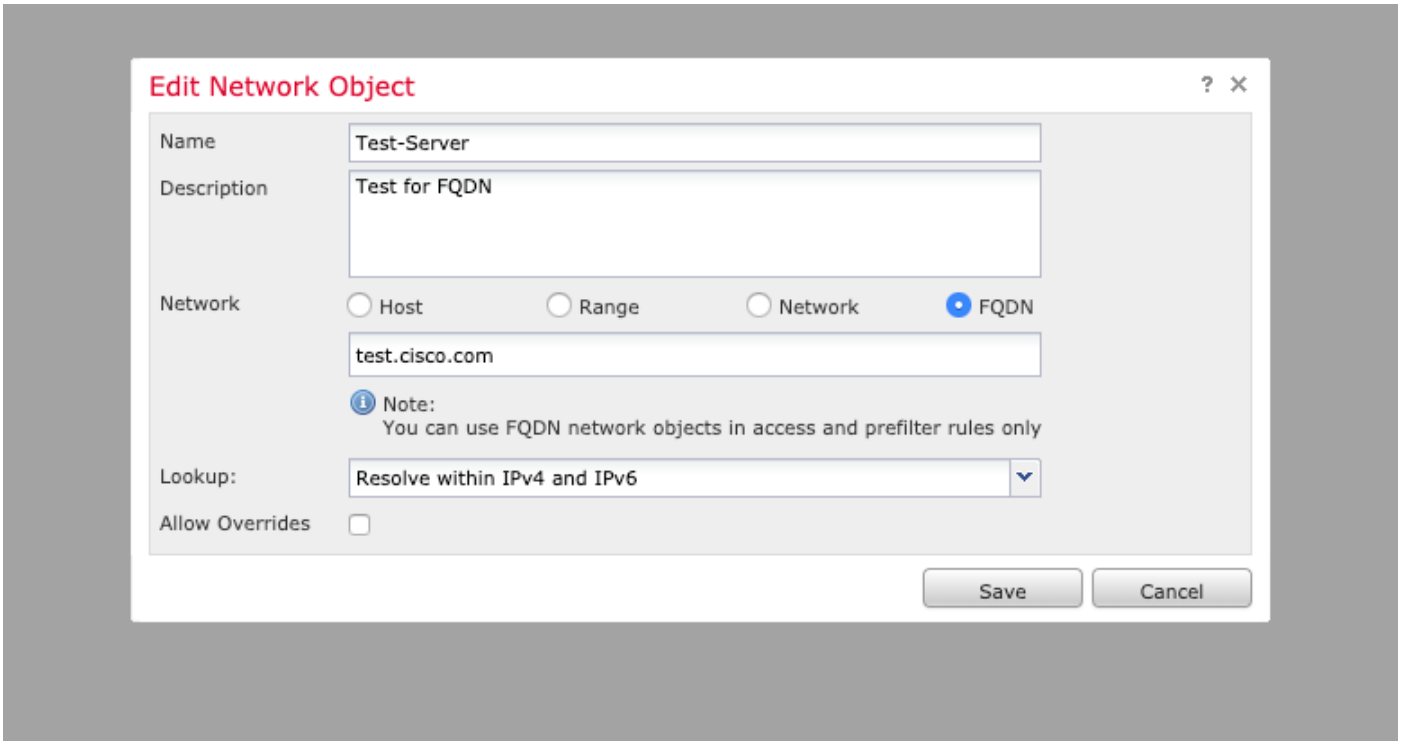


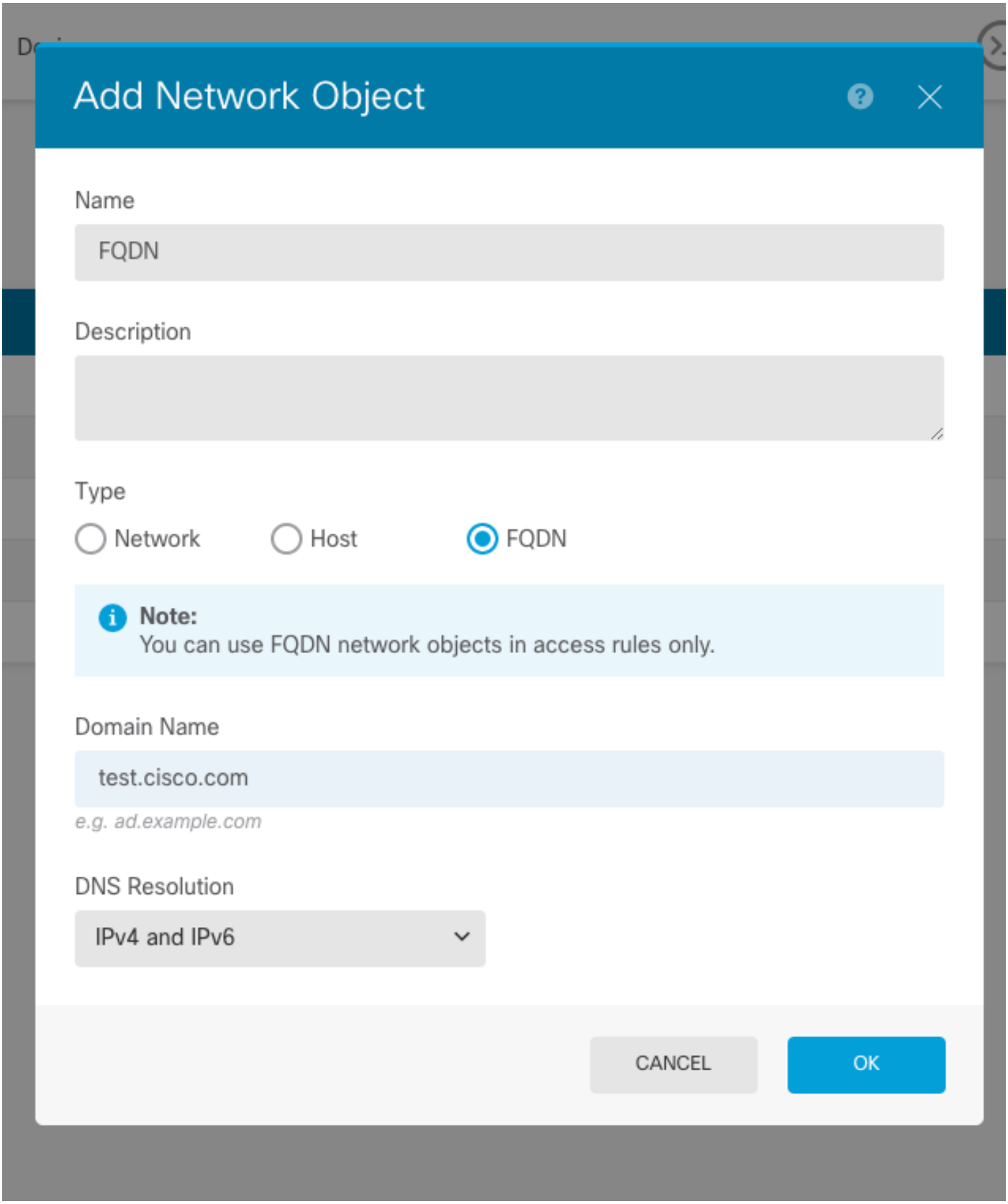




注: システム ポリシーが FTD に DNS をことを設定した後適用されるようにして下さい。（設定される DNSサーバは FQDN を使用する解決する必要があります）

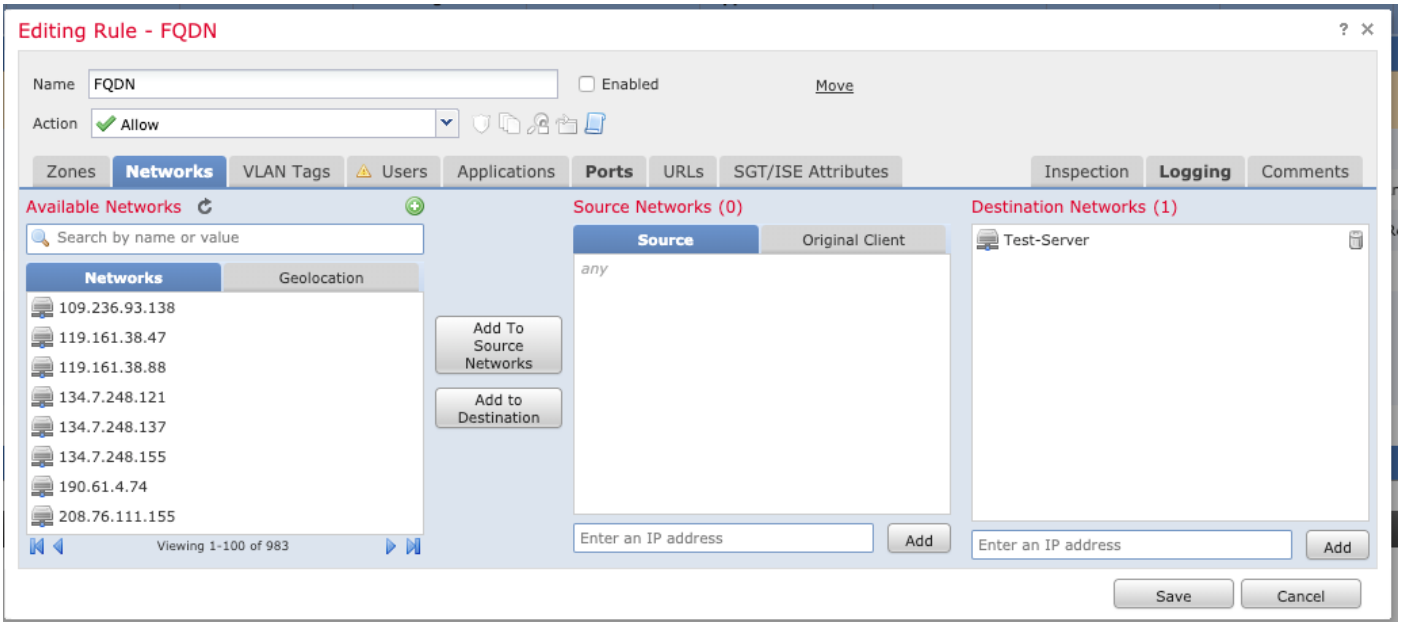
ステップ 2.**オブジェクト > オブジェクト 管理 > Add Network > Add オブジェクト**にことナビゲートするために FQDN オブジェクトを、作成して下さい。

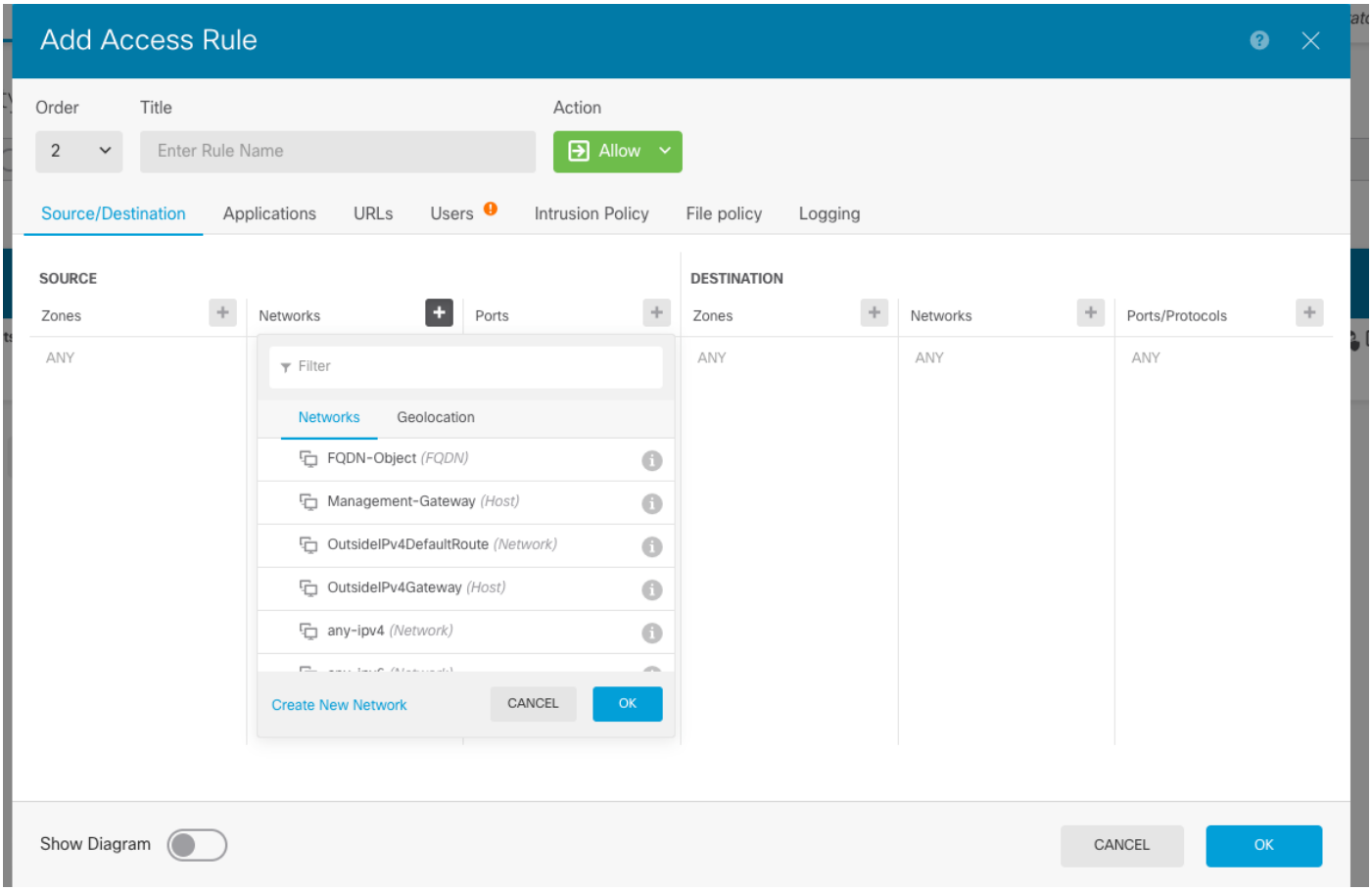

Edit Network Object
Name
Test-Server
Description
Test for FQDN
Network
Host
Range
Network
FQDN
test.cisco.com
Note:
You can use FQDN network objects in access and prefilter rules only
Lookup:
Resolve within IPv4 and IPv6
Allow Overrides
Save
Cancel



ステップ 3.**ポリシー > アクセスコントロール**へのナビゲートによってアクセスコントロール ルールを作成して下さい。

注: ルールを作成するか、または要件に基づいて既存のルールを修正できます。 FQDN オブジェクトは出典や宛先ネットワークで使用することができます。



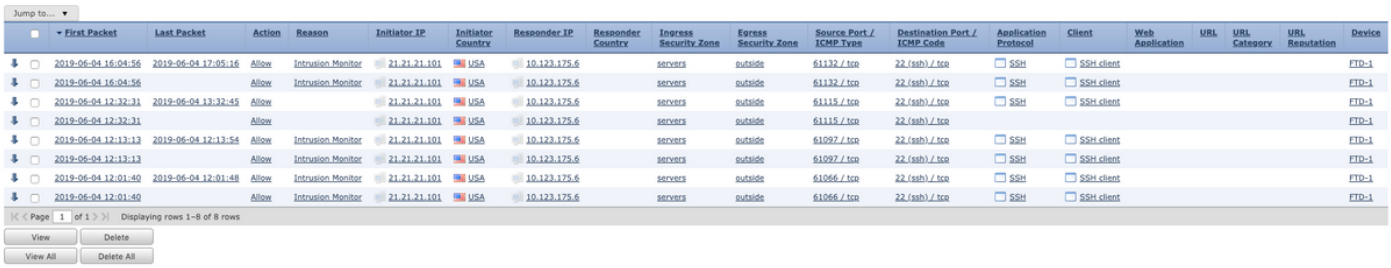


設定が完了した後ポリシーが適用することを確認して下さい。

確認

作成される FQDN によって基づくルールを引き起こすと期待されるクライアントマシンからのトラフィックを初期化して下さい。

FMC で、**特定のトラフィックのためのフィルタはイベント > 接続イベント**にナビゲート します。



トラブルシューティング

DNSサーバは CLI から FQDN オブジェクトを解決これ確認することができます実行しますこれらのコマンドをできるはずです:

- **システム 支援診断 cli**
- **fqdn を示して下さい**

を探します。